

# 多様な視点で置賜を観る！

公益財団法人 山形県生涯学習文化財団共催

## ◇◇◇◇第Ⅸ期うきたむ学講座のご案内◇◇◇◇

人間が行う生活のための活動は、多様な自然分野に対する働き掛けによって成り立っています。その分野の数だけ人々を見つめる切り口があるはずです。今回は、歴史・考古・生物の各分野で継続的に調査・研究されている講師の方々に講義をお願い致しました。

また、第3回講座では、東日本地域の石器や石材の流通から、縄文時代社会の到達点を考えてみる企画です。置賜地域の事例に固執することなく広い地域の事例から、新たな視点で理解することを目的に企画しました。縄文時代の石材流通に興味のある方々の参加を待ち望んでおります。

平成27年1月18日・2月15日・3月1日(日曜日)

## 特集『歴史・民俗・<sup>いきもの</sup>生物から置賜を読み解く』PartⅢ

**第1回講座** 平成27年1月18日(日) 午後1時～4時

■ 講話①「陸奥国の官衙を赤井遺跡・矢本横穴墓群からみる」…東松島市教育委員会 佐藤敏幸 氏

宮城県北東部の赤井遺跡は、蝦夷防衛ラインの東端に存在する。この遺跡は牡鹿郡家・豪族居宅に当たると考えられている。周辺には矢本横穴墓群が存在し、官衙と関連する人々の墓地だったと考えられる。官衙成立の背景を矢本横穴墓群の調査から紐解いていただきます。

■ 講話②「花粉からみた縄文時代の人為生態系と植物資源利用」…古代の森研究舎 吉川昌伸 氏

小国町の森林でクリ花粉の散布調査した事例などの紹介から、縄文時代の集落周辺の環境調査の報告をしていただきます。花粉の調査による縄文集落の景観復元と植物資源利用の報告です。

**第2回講座** 平成27年2月15日(日) 午後1時～4時

■ 講話③「米沢盆地の横穴式古墳成立過程を考える」……………米沢市教育委員会 佐藤智幸 氏

米沢盆地には、7世紀から8世紀にかけて米沢・高畠・赤湯地域に横穴式古墳が多く造られ、未発見の飛鳥時代にあった優嗜曇郡衙と関連する墳墓だったと考えられています。横穴式古墳の研究から郡衙の成立背景も紐解いていただきます。

■ 講話④「近代の教育活動としての育英事業」……………山形県立米沢女子短大 布施賢治 氏

明治時代になると立身出世を夢見て、東京などの大都市に上京遊学する青年が現れる。青年層や旧藩(上杉家)や米沢市は、彼らを支援する育英事業を実施する。米沢教育会、米沢有為会、師範学校生徒学資貸費規程など諸会の活動から、置賜の育英事業の特徴を考えてみます。

**第3回講座** 平成27年3月1日(日) 午前10時20分～午後4時30分

### 講座の主旨

米沢盆地の白竜湖や大谷地周辺に形成された縄文時代の押出遺跡や日向洞窟遺跡西地区では、未製品を搬入して石器を製作していることが判明しています。このように原産地から数10km離れた場所で石器を製作している遺跡が東日本の各地で幾つか知られています。この石器の製作システムは、縄文時代の社会のどのような面を反映しているのでしょうか。各地の原石産地のあり方や、石材の流通を検討テーマにしたいと思います。

関東地域については、栗島氏に報告していただきます。緑泥片岩は荒川中流域に産出する石材で、これを用いた

